

思いやりの心
いたわりの心助け合いの心
支え合いの心【発行】福岡県退職公務員連盟 会長：吉田 筑三
事務局長：稲田 瑞穂 〒808-0001 北九州市若松区小石本村町 2-60
TEL / FAX : 093-761-4697

【編集・制作】株式会社ニチコミ 福岡市博多区博多駅東 1-13-6 竹山博多ビル 7F TEL : 092-292-6538

平成 28 年度 運営方針

私たちの年金は、昨年 10 月共済年金と厚生年金が一元化された。この一元化された年金積立金の総額は 135 兆円であり、人口の 3 分の 1 に当たる 4,000 万人が受給している。年金は年間約 52 兆円を歳出する。その財源は、保険料と国庫支出金と運用利益からである。この運用利益は、国債、株式の配当金である。この運用を年金積立金管理運用独立法人 (GPIF) が行っている。年金運用については注視していく必要がある。

年金が減額されている現状は、①マクロ経済スライドの導入により 0.9% の減額。しかし、景気上昇があり昨年は 0.9% アップした。②追加費用 27% の減額。③特例水準から本来水準に戻すための 2.5% の減額である。

しかし、年金受給者の増加と制度を支える正規労働人口の減少で、年金財政は厳しい現状に陥っている。このような状況の中で超高齢社会をどのように乗り越えていくのか、今日課せられている問題である。

私たち福岡県退公連は、

- ① 誰もが安心できる社会保障制度の充実をめざす。
- ② 退公連の一員として相互理解を深める。
- ③ 地域、支部の活動に積極的に参加し、社会貢献活動ができるよう人間としての絆を深める。
- ④ 組織の拡充・活性化に努める。

本年度は、この 4 本柱を基本にして、活動の推進役である支部との関係を通して、ゆるぎない組織をつくっていくことに努めたい。さらに現役世代の公務員に対しても関わりを深めていく。

退公連に生きる



福岡県退職公務員連盟
会長 吉田 筑三

爽やかな季節になり、身動きが楽になりました。しかし、このたびの予想しない「熊本地震」には驚きました。自然災害に対して、高齢になってくるにつれ、これから先の生活を考えると不安になってき

ます。それに、日本の人口は年々減少していきいます。特に 65 歳以上の人が増加して、平均寿命は男性が 80 歳で女性は 86 歳です。このような超高齢社会を生きていくためには、人とのふれあいを大切に生きていくことではないでしょうか。

退公連は誰もが安心できる社会保障制度の構築と現職時代に培った知識と経験を生かして、福祉の増進と生涯学習の推進を目的にしています。超高齢社会を生きていくために、長年の経験と知識を活用して地域福祉活動をしたり、健康づくりや趣味で集い、生きがいと連携の輪を広げて、退公連の一員として生きていくことではないかと思えます。

若松支部の活動

若松支部 事務局長 高田 利弘

会員から「行事の案内がありとうございます。支部だよりを楽しみにしています」という便りが来しました。若松支部は、春には総会・懇親会、秋には敬老祝賀行事・日帰り旅行、さらに新春交流会等を実施しています。恒例の行事を楽しみにしている会員さんの他に「総会の要綱」や年間 2 回 (6 月と 3 月) 発行している「若松支部だより」を楽しみにしている会員さんがいます。若松支部は、これらの活動を企画、運営するために、5 回の役員会を開催しています。活動の原動力になっているのは、冒頭にある会員の便りがあるからです。



評議員会: 3月23日(水)開催

評議員会・三部長会開催 今年度の運営方針が決定



三部長会: 4月13日(水)開催

平成 27 年度は 6 名の会員が入会し、正会員 120 名、準会員 19 名の 139 名となりました。しかし、今後は、徐々に会員数が減少することが予想されます。今後、若松支部は、会員のつながりを強め深めるための活動内容を模索、工夫し、会員が若松支部に親しみを抱き、幸せを感じる温かい組織にしていきたいと思っています。

新支部長紹介



中央区支部長
柴田 茂行

中央区支部は、会員わずか40名という小さな支部である。構成員は9割が教職員出身者で、退職校長会との2足のわらじを履き頑張っている。
校区の学校に向き、ボランティア活動として多岐にわたった支援を行っている。また、地域へは公民館や自治会を通し、いろいろな活動している。
一方、退公連では「自助 共助 公助」の理念の下に、安心できる年金制度の構築と社会保障制度の充実を求め頑張っています。



嘉穂山田支部長
松熊 勝彦

前緒方克州支部長が今年2月に手術、その後加療のため長期入院。急遽、私が支部長を拝命しました。今日、退公連の若返りが急務です。当支部も若い退職公務員がおられるものの、年金支給の延期や再雇用等で入会が困難な状況です。
現勢力でなんとか創意工夫し、会の発展に努力している現状です。今後ともご指導を賜りますようお願いいたします。



鞍手支部長
有吉 宏昭

このたび、平成28・29年度の鞍手地区支部長を仰せつかりました。
これから勉強して少しでも会員のお役に立てるよう頑張りたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。
資料を見て驚きました。鞍手地区では、10年間で会員が半減しています。このまま放置すれば、いずれ「限界団体」になりかねません。連盟の存在意義・魅力は退公連新聞の中にあると思われま

す。頑張っています。

新事務局長紹介



中央区支部 事務局長
松井 剛

「私で大丈夫なんですか？」事務局長にご指名をいただいた時の正直な気持ちでした。先輩方や会員の皆様にご指導をいただきながら頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



嘉穂山田支部 事務局長
大里 茂晴

会員の皆様方のご指導を受けながら、少しでもお役に立てるよう、努めたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



鞍手支部 事務局長
野見山 弘次

地元老人クラブの会長をしているが、信条は一緒のような気がします。健康福祉、社会貢献(奉仕)、組織の拡充と活性化。前向き、笑顔でお世話します。



大牟田市支部 事務局長
治久丸 英文

退職後はできるだけ目立たないようにひっそりと生きることを願っていたのですが、先輩からの一言。「人のために役立ってこそなんぼ」ということで事務局長をお引き受けることにしました。大牟田支部は160名位の組織です。中でも私は一番の若僧です。経験と知識の無さは若さでカバーし、役員の皆様を支えながら、支部の活性化に努めたいと思っています。

新女性部長紹介



柳川みやま支部 事務局長
今村 公昭

本年度より事務局長を務めるようになりました。「とてもあき」です。
事務局の仕事をするようになって、まだ2カ月弱ですが、いろんなことに気づかされました。①退公連が年金の維持のために活動されていること。②本支部では、会員の減少が甚だしく、会の運営が厳しい現実。微力ですが、会の存続のため努めたいと思います。



城南区支部 女性部長
清成 節子

このたび、女性部長を仰せ付かりましたが、大役を果たせるかどうかわかりません。
どうぞよろしくご指導くださいますようお願いいたします。



筑紫南支部 女性部長
宮原 智美

教職を退いて十数年になります。
退公連には、加入してまだ数年ですが、お誘いを受けて、筑紫南支部の女性部長の任につくことになりました。先輩役員の方々が、会報配りや、国、地方自治体の社会保障施策を調べた資料づくりをされるなど、真摯に取り組まれていることを感じていましたので、微力ですが私も責任を果たしたいと思っています。



鞍手支部 女性部長
北崎 洋子

退職をしまして10年が経過しました。これまでいろいろな退職何々といつた会に、お世話になっております。このたび、この役をやろうといつた先輩にお話をいただき、私ができることあれば、とお引き受けをいたしました。

新組織部長紹介



城南区支部 組織部長 門悟

退公連に入会して3年目、組織部長を担当することになった。昨年から総会に向けて案内のながきを出し、分担して入会の勧誘を電話でしていく。「現職の時に先輩方にお世話になったんだから、退職校長会と同時に退公連にも入らなきゃ」年金について唯一国との交渉権を持った組織だからね」といふ早口になる。
小学校で定年退職をした一人として、まずは、現職の頃に知り合った後輩たちから声をかけていこうと思つ。



筑紫北支部 組織部長 池田 臣正

「さっさと元気が、やんば、負けん気
私の地域は筑紫耶馬溪の山間地で今の季節は新緑一面に目に染みる昨今、山の木々、草花の匂いがプンプンし昔を思い出します。
心もつきつき若返りかな!!

那珂川の清流には、カワセミ、ヤマセミたちが仲良く、美しい姿を自慢しながら飛び回っている。6月になると町の花（木）山桃がたぐさんの赤い実をつけます。私の地域は名所旧跡も多くあり、健康づくりをかねて探索するのも楽しみで。



八幡支部 組織部長 桑園 正夫

組織部長として新会員の加入促進に向けて努力します。
組織の高齢化が進む中、新会員とのパイプを大切に、退公連のよさをアピールしていきます。
ごきようしくお願いたします。



直方支部 組織部長 空閑 正臣

定年退職をして、1年2カ月が経ちました。現役の時と違い、時間に余裕があると思つていましたが、なかなか自分の時間がとれないのが現状です。
さて、退職公務員連盟の組織部に位置づけられました。まだ内容がよく分からず、皆様にご迷惑おかけしています。組織強化に向けて今後も会員の皆様とともに取り組んでいければと思つ。



嘉穂山田支部 組織部長 田中 義春

会員減少という厳しい時代を迎えています。連帯と回結で乗り越えていきたいと思います。



鞍手支部 組織部長 毛利 輝海

今年で退職して早くも10年目が過ぎました。でも、まだまだ現職には負けじと週3日間ほどは勤務にと精を出しています。
暇を見つけては、現職の頃には全く目も向けなかった「土いじり」にも親しみ、野菜づくりに興じています。収穫までには程遠く簡単にはいきませんが、でも時々実をつけ食した時は最高のおいしさを楽しんでます。

さて、今回は組織部長の任を受けましたが退公連のことは全く無知同然であります。自分なりに勉強しながら努めていきますのでごきようしくお願いたします。



大牟田支部 組織部長 次郎丸 敏博

大牟田支部では、その年の退職者に加を呼びかける手紙を送付し、組織拡大に取り組んでいます。



大牟田支部 女性部長 古賀 信子

大牟田支部の努力目標のもと、退公連の組織拡大のための新退職者の加入を推進し、支部の事業である学習会の参加を呼びかけ会員の福祉増進に努めています。

また、支部の運営が会員の減少で厳しくなつてきている現状をふまえ、活動資金の一助となるべく取り組みに協力していきたいと思つ。



浮羽支部 女性部長 岩下 壽美恵

定年退職後、嘱託で5年間勤めて晴れて自由の身となりました。

私で何かお役に立つことがあればご引き受けました。よろしくお願いたします。



田川市支部 女性部長 皆川 待子

小学校を退職後、教育研究所に勤務していたため、支部の活動にはなかなか参加できず、申し訳なく思つていました。3月に教育研究所の仕事を無事に終えることになり、ほっとしている時に、支部長より女性部長依頼のお話がありました。

田川市では、近年役員の方々の年齢がだんだん上がつてきているため、少しずつチェンジしていきたいというお話をお聞きし、私でもお役に立てればと思つ、女性部長をお引き受けしました。

支部長や前女性部長にご指導を頂き、田川市支部のよさを踏襲しながら、本年度の女性部の取り組みを進めていけたらと思つています。
ごきようしくお願いたします。

とにかく楽しい会を目指して、一人でも多くの会員の方がお集まりいただけるよう声かけをしていきたいと思つています。ごきよう、ご指導のほどよろしくお願いたします。

相互理解を深め地域に生きる

糟屋支部 支部長 恵良 周司

糟屋支部は、古賀市・新宮町・久山町・粕屋町・篠栗町・須恵町・志免町・宇美町の1市7町で構成された地域です。福岡市に隣接し、人口のドーナツ化もあって新宮町のように人口が急増する地域も擁しています。広域であるため、10の班に分けて、班ごとにそれぞれ年次総会をもち、諸活動にあたっています。班ごとに小学校・中学校の現職員、特に校長・副校長・教頭を準会員として処遇し、連絡を取り合う工夫を凝らして、退公連組織への理解深化を図っています。

支部全体としては2年に1回、糟屋支部総会を開催しています。退公連が一般財団法人として、組織の維持運営や地域社会への貢献を行う使命を負っていることを鑑みて、その折に講演会を中心とする研修会を開催しています。退公連のそれぞれの会員が、地域社会で生きることを通して直面する多岐にわたる諸課題の解決に資する内容の研修になるよう、3カ月前から役員会で講演会の講師を選んでいきます。今年には肩の凝らない健康講話や、メディア・携帯電話・スマートフォンに関する内容で、女性の講師を招聘しました。



より強固な組織を目指して

早良区支部 支部長 石橋 正隆

①組織強化の取り組み
◇会員は今
支部は現在、会員数97名で活動している。お互いのつながりは固い。だが、会員数は年々減少している。
◇入会者歓迎
各職種の方々に、入会してもらおうとを願って取り組んできたが、何名かの入会者を得たにすぎなかった。
◇集中的な取り組み
退職者に対し、電話で「退公連」

退公連大牟田支部の発展を祈念して

大牟田支部女性部

前女性部長 境 榮子

支部の発展を願って女性部として努力していることを考えてみます。
第1は、組織拡大のための取り組みです。一人でも多くの方に入会していただくように口頭からできるだけ交流を深めておくようにします。退職された時点で退公連の組織や活動について説明し、直接家庭訪問をしたり電話をしたりして入会を勧めています。良い返事がいただけない時は繰り返し入会活動を続けます。
第2は、支部の一大行事の1つ、敬老表彰式と研修会（学習会）への取り組みです。県と市の敬老表彰者を合わせると十数名から多い年は二十数名になります。

のことを知らせ、入会を促す。
◇「退公連加入のご案内」を郵送する
この中には「県連作成の資料」がある。つまり「退公連の目的」「どんな団体か」「活動内容」「入会のメリット」等が書いてある。
・班長さんから声をかけて誘ってもらおう。
・知人を通して声をかけ、入会を勧めよう。
・役員が電話をする。そして訪問をして勧誘する
◇退職者の人数に変化はあるが、27年度4名、26年度1名、25年度3名、24年度2名、23年度5名…の加入

をみた。
・入会者は広報紙で紹介する
②絆を深める取り組み
◇会員の絆を深める取り組みの1つに広報紙「早良の灯」を発行している。年1回ではあるが、今年で25号になる。この中で会員は・支部の動向・長寿者の様子・女性部の活動状況・研修に関する状況・会員の動向等を共有して知ることが出来る。そして、それはまた新たな活動が生まれるきっかけとなる。
し、社会貢献にも努めていること。例えば街の美化活動に参加したり病院の患者さん用のタオル帽子づくりに協力したり学校の支援活動に参加したりしています。
第4は、新聞配布にも女性らしい優しさを込めています。1人ずつ記名した札を付け、一言メッセージを書き添えます。ちょっとしたことでですが留守で会話のできない方などとも心のふれあいを忘れないようにしています。
微力ですが心を込めた活動を通して会の発展を祈っています。

